

新潟市在宅医療ネットワーク活動支援事業補助金 事業報告書

事業名称	「山の下ねっと」地域連携推進事業
事業実施主体 (構成団体)	山の下地域包括ケアネット(略称:山の下ねっと) 別添「役員名簿」に記載する者(運営委員) および事業実施地域で在宅ケアに携わる 保健医療福祉関係機関・事業所の任意参加 約90事業所
事業内容	1. 「顔の見える」連携と地域包括ケア実行のための諸研修事業 医療・介護の「壁」感覚を解消し、職種・業種横断的に共に学び、 顔の見える連携を行うための土壌づくりの機会を提供した。 2. 市民への情報発信と関係者間での情報交換を目的としたホームページ作成
事業実施・立ち上げに 当たったプロセス	1. 「顔の見える」連携と地域包括ケア実行のための諸研修事業 ①山の下ねっと運営委員会(平成26年度 3回) 各業種・事業から参加を募り、グループワークなどを通じ地域における医療福祉連携の課題を整理した。また本会の運営協議の場とした。 1) 6/17(火) ・新潟市における地域医療再生基金について(阿部代表) ・【グループワーク】 山の下ねっと「全体会」の企画案検討ディスカッション 2) 12/9(火) ・【事例検討会】 ケース検討会グループ 3) 3/26(木) ・事業報告、決算見込、次年度事業計画、予算案等審議 ②山の下ねっと全体会(平成26年度 2回) 地域の医療福祉行政関係者すべてを対象とし、研鑽を積む場を提供した。 1) 8/23(土) 於、東区プラザ ホール 参加者 約140名 テーマ「山の下の みんなで支える 認知症」 ・【基調講演】「新潟市認知症連携に何が必要か」 講師: みどり病院 病院長 成瀬 聡 先生 ・【パネルディスカッション】

	<p>2) 2/28 (土) 於、朱鷺メッセ中会議室 201 参加者 148 名 テーマ「地域・多職種で考える『食』～摂食・嚥下機能～の支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【招待講演】 「地域で食を支援するために～東京都における摂食嚥下機能支援～」 講師 東京都多摩立川保健所 白井 淳子 先生 ・【グループディスカッション】 「山の下みんなで『食べる』を支えよう」 <p>③小規模研修、ワーキングチーム等の活動支援 症例検討会の活動開始準備にあたり、12/9 の運営委員会にて事例検討のデモンストレーション体験を行った。平成 27 年度 (6 月) より活動開始予定。</p> <p>2. 市民への情報発信と関係者間での情報交換を目的としたホームページ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民への地域包括ケアに関する啓発 市民への「地域包括ケア」に関する啓発の一環として「山の下ねっとホームページ」を作成、5 月より公開し、各種の情報提供を行った。 ② 関係者間での地域包括ケア資源の情報共有 医療福祉関係者であっても、実際当地域においてどのようなサービス資源があるのか、またその提供内容の差異等把握していない面もあることから、医療資源情報についてアンケート調査で取りまとめた資料を会員専用ページにて提供した (PDF ファイル)。また、会員専用の意見情報交換用掲示板 (BBS) を設置した。
<p>事業の特徴・成果</p>	<p>1. 「顔の見える連携」の構築のための土壌づくり、場の提供を行うことにより、全体会への 100 名を超える参加があるなど、本地域における各事業所・職種間の連携機運が高まった。また、より「顔の見える連携」を目指す動きとして小グループ活動の開始についても目途が立ってきたところである。</p> <p>2. ウェブサイトや各種会合のお知らせなどの情報提供により在宅医療・介護への関心・理解や動機づけが図られるとともに、資源情報の提供により、医療系サービス、特に診療所へのアクセスの容易さにつながったと考えられる。</p>

今後の課題	<p>当ネットワーク参加事業所は90を超え、全体会での参加人数も100名を超えるなど、当ネットワークの認知度、地域内における多機関多職種連携への関心は一定程度高まってきたように思われる。</p> <p>反面、その分会員の「ネットワーク」への受動的な期待の声も聞かれるようになってきた。</p> <p>地域の関係者がより主体的能動的に参加できる仕組みづくりが必要となっている。次年度から開始予定の小グループ活動などを解決のための一つの策としていきたい。</p> <p>地域包括ケアの進展について住民が実感できるレベルになるまでは、時間を要するものと思われるが、住民とともに地域医療や在宅ケアを考えるための仕掛けづくりについて、何らかの形で取り組む必要があると考える。</p>
-------	--

※ 欄が不足する場合には、適宜資料を添付してください。

(別紙2)

収 支 決 算 書

	項 目	決算額	積算の内訳
収 入	会費	276,000	@3,000×92 事業所(個人)
	参加費	30,500	会員外第2回全体会参加費 @500×36名 会員外第3回全体会参加費 @500×25名
	繰越金	3,163	前年度より
	雑収入	1,028	懇親会残金、貯金利子
	合 計	310,691	

	項 目	決算額	積算の内訳
支 出	役務費	22,478	切手代、料金別納郵便
	委託作業費	393,120	ホームページ作成委託費
	賃借料	64,918	ホームページサーバーレンタル料2年分、全体会会場費
	事業費		
	（ 消耗品費	12,431	封筒、養生テープ、コピー用紙、CD-R等
	その他事務費	3,032	ファイル、USBメモリ、ゴム印等
	事業費	118,365	会合用名札ケース・プロジェクター・横断幕購入、配布資料印刷費
	報償費	134,000	第2回・第3回全体会 講師、座長、シンポジスト謝礼・交通費
	（その他事業実施に必要な経費	18,410	支払時振込手数料、会合時茶菓代
合 計	766,754		

別紙様式第6号（第9条関係）

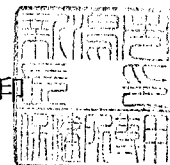
新保管第390号の4

平成27年3月31日

山の下地域包括ケアネット

代表者 阿部 行宏 様

新潟市長 篠田 昭 印
(担当 保健所保健管理課)



新潟市在宅医療ネットワーク活動支援事業補助金確定通知書

平成27年3月31日付けで実績報告のありました標記補助金について、下記のとおり確定したので通知します。

記

1 交付決定額 金456,000円

2 交付済額 金 0円

3 確定額 金456,000円